

## 平成 31 年度第一回 JARR 幹事会議事録

日程: 平成 31 年 2 月 3 日 (日) 12 時 00 分～13 時 10 分

場所: 奈良県文化会館

出席予定者: 小野公二, 長谷川正俊, 根本建二, 平岡真寛, 福本学, 宮川清, 鷺尾方一, 富田雅典\*, 勝部孝則 (\*オブザーバー参加)

### 報告・審議事項

#### I JARR の活動について

- (1) IARR (Prof. Penny Jeggo) から JARR に Kaplan Award 募集の案内が届いた (2 月中旬)。JARR 幹事を通じて、各学会へ情報共有した。
- (2) IARR Vice-president 島田義也氏 (日本放射線影響学会理事長) からの依頼で、ICRR プログラム案を JARR 幹事に配布し、内容について意見を募集した (7 月下旬)。

#### II 今後の活動方針について

- (1) ICRR2019, 英国マンチェスター市, 2019 年 8 月 25-29 日. (REGISTRATION -EARLY- until 31st May)
- (2) 5thACRR, インド ムンバイ, 2021 年 11 月 17-19 日.
- (3) ICRR2023, カナダ モントリオール市.
- (4) 次期 IARR councilor の推薦について  
現 councilor の任期は今年 8 月の ICRR 終了まで。次期 councilor は ICRR で開催される IARR General Assembly において選出される。

JARR 所属の現 IARR councilor:

島田義也 (Vice-President\*, 敬称略、以下同)

宮川清 (Representing Medicine\*)

藤堂剛 (JARR 指定) 再任可

\*Nomination Committee が選ぶ候補者から選挙により選出される。ただし、慣例で Vice-President は次期 President に選出される見込み。

#### III その他

- (1) 学会連携企画セッション等開催助成制度について

(添付資料「学会連携企画セッション等開催助成制度の提案」)

幹事会での審議の結果、今年度は試行的に、学会連携企画セッション等に助成を行うことが承認された。1 回の助成の上限額を 20 万円程度とする。提出された企画案にもとづき、JARR 幹事会で稟議を行い、助成の可否を決定する。企画案の提出先は JARR 庶務幹事。

次年度以降の実施については、改めて審議する。

JARRとして、国内放射線関連学会間の連携強化を推進することについて合意が得られた。外部資金の獲得も含め、今後も継続的に連携強化のための方策を検討する。

(2) 幹事交代の報告

日本医学放射線学会選出 JARR 幹事について、西村恭昌氏から根本健二氏に交代した。

(3) 日本放射線化学会 JSRC Young Scientist Award for ICRR2019

ICRR2019 (2019/8/25-29, マンチェスター) に参加する優秀な学生または若手研究者に対して、日本放射線化学会 JSRC Young Scientist Award for ICRR2019 を授与し、参加を支援するとのアナウンスがあった。

・対象者：ICRR2019 に参加・発表予定の学生または若手研究者（非会員も応募可）

・受賞者数：3名

・補助金額：5万円／人

※詳細は日本放射線化学会ウェブサイト

(4) JARR 現幹事の任期は 2019 年末まで。今年 10-11 月頃に、各学会宛てに次期幹事選出の依頼をする予定。

(5) 次回 JARR 幹事会は、2020 年 2 月 8 日（土）～9 日（日）開催予定の癌治療増感シンポジウムに合わせて奈良で開催する予定。

#### IV 会計・監査報告

平成 30 年度会計報告と監査報告がなされた。

(添付資料「JARR 平成 30 年度会計報告／会計監査報告」)